



「柔道整復学」確立の必要性について語る  
櫻田裕会長

平成27年6月21日(日)仙台国際センターの講演会場を主会場として、第7回宮城県柔道整復学構築学会が開催されました。本学会は「柔道整復学」を定義し、国民医療における意味・価値・哲学を確立することにより、更なる社会貢献をすることを目的としています。

近年、折に触れて「私たちを取り巻く医療環境は大変厳しい状況にある」と訴える声を耳にします。そのような状況下だからこそ、柔道整復術の普遍性・法則性・科学性などを研究・解析・検証し、確かに取り所を確立することが求められます。柔道整復師の存在意義を模索していく手段として、「柔道整復学」の構築は必要不可欠であるといえます。

「将来における柔道整復師の可能性」をテーマとする本学会は、開会式での櫻田裕会長の力強い挨拶で始まりました。

以下に、本学会の内容を紹介いたします。



練馬光が丘病院 傷の治療センター  
夏井睦先生

本講演で使用したスライドファ  
<http://www.wound-treatment.jp/>  
からダウンロードできます

市・県民健康講座では練馬光が丘病院の夏井睦先生をお招きして、最近話題の「糖質制限で健康になろう」をテーマにご講演をいただきました。炭水化物の摂取をコントロールする画期的なダイエット法を、ヨーヨーや益れるお話を解説されました。その影響で、昼食の弁当を残した参加者も多かったのではないかでしょうか。

## 市・県民健康講座

練馬光が丘病院  
傷の治療センター  
夏井 睦 先生

## 「糖質制限で健康になろう」

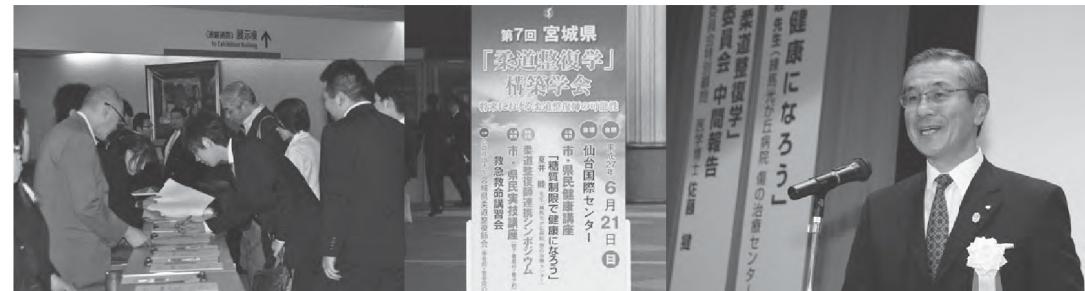


第7回宮城県「柔道整復学」構築学会 開会式

# 第7回宮城県 「柔道整復学」 構築学会

～将来における柔道整復師の可能性～

平成27年6月21日(日)仙台国際センター



# 「重要性について」

【座長】

公益社団法人日本柔道整復師会  
総務部長 豊嶋 良一 先生

【パネリスト】

○公益社団法人日本柔道整復師会  
副会長 萩原 正和 先生  
保険部長 三橋 裕之 先生

○公益社団法人宮城県柔道整復師会  
櫻田 裕 会長

○一般社団法人全国柔道整復師連合会  
会長 田中 威勢夫 氏  
常任理事 遠藤 信幸 氏



(左から)一般社団法人全国柔道整復師連合会 田中威勢夫 会長  
公益社団法人宮城県柔道整復師会 櫻田裕 会長  
一般社団法人全国柔道整復師連合会 遠藤信幸 常任理事



熱のこもった議論が交わされた特別シンポジウムの模様

本学会の特別企画のひとつとして「柔道整復師連携シンポジウム」を開催しました。一般社団法人全国柔道整復師連合会会長・田中威勢夫氏と常任理事・遠藤信幸氏のお二人をパネリストに交え、柔整業界の未来と可能性を模索する熱い討論が交わされました。

「大同団結の重要性」を共有し、連携を図つていふことが柔整業界の改革と存続につながるものと確信します。業界を取り巻く厳しい現状を踏まえて、協力していく方向性を確認する第一歩となりました。



## 第3次宮城県「柔道整復学」構築研究委員会 中間報告

【座長】  
佐藤 捷 先生  
委員会特別顧問 医学博士

**早坂 健 委員**

「柔道整復師が行う損傷のタイプによる治療方法の検討(3)」

**田村 博 委員**

「腱板損傷の病態と柔道整復の可能性」

宮城県「柔道整復学」構築委員会 特別顧問  
医学博士 佐藤 捷 先生



宮城県「柔道整復学」構築研究委員会  
岩佐 和之 委員長

宮城県「柔道整復学」構築研究委員会  
田村 博 委員

宮城県「柔道整復学」構築研究委員会  
早坂 健 委員



一般社団法人全国柔道整復師連合会  
遠藤信幸 常任理事



一般社団法人全国柔道整復師連合会  
田中威勢夫 会長



公益社団法人宮城県柔道整復師会  
櫻田裕 会長



公益社団法人日本柔道整復師会  
三橋 裕之 保険部長



公益社団法人日本柔道整復師会  
萩原 正和 副会長



公益社団法人日本柔道整復師会  
豊嶋 良一 総務部長

# (公社)日本柔道整復師会 公認私的研究会 研究発表

保険・部分医療・福祉サービス研究会

**中川 裕章先生**

「地域包括ケアシステム構想における

在宅復帰シナリオ

～患者の声を医療に生かす～」

医療法人洞口会 整骨・鍼灸医学研究会

**鈴木 洋介先生**

「上腕部打撲を契機に発見された

骨腫瘍の一症例」

医療法人洞口会 整骨・鍼灸医学研究会

**中川 裕章先生**

「患者の声を医療に生かす～」

医療法人洞口会 整骨・鍼灸医学研究会

**佐藤 一潤先生**

「主体的で活動的な生活の獲得を

目指した症例へのアプローチ」

岩佐接骨院勉強会

**水戸 麻里奈先生**

「肩関節外頸炎の病態から

保存療法の可能性について」

岩佐接骨院勉強会

**佐藤 一潤先生**

「肩関節脱臼の整復操作から

保存療法の可能性について」

ふじい接骨院

**藤井 裕文先生**

「肩関節脱臼の整復操作について

超音波治療を併用してみて

ふじい接骨院

**櫻本 和夫先生**

「骨折の判断に困難を要した

橈骨近位端骨折における2症例」

# 一般会員 研究発表

わたり接骨院

**櫻本 和夫先生**

「骨折の判断に困難を要した

橈骨近位端骨折における2症例」

ふじい接骨院

**藤井 裕文先生**

「肩関節脱臼の整復操作について

超音波治療を併用してみて

ふじい接骨院

**櫻本 和夫先生**

「骨折の判断に困難を要した

橈骨近位端骨折における2症例」

医療法人洞口会 整骨・鍼灸医学研究会  
鈴木 洋介先生  
保険・部分医療・福祉サービス研究会  
中川 裕章先生



医療法人洞口会 整骨・鍼灸医学研究会  
佐藤 一潤先生  
保険・部分医療・福祉サービス研究会  
中川 裕章先生

岩佐接骨院勉強会  
水戸 麻里奈先生  
医療法人洞口会 整骨・鍼灸医学研究会  
佐藤 一潤先生



ふじい接骨院 藤井 裕文先生  
わたり接骨院 櫻本 和夫先生

## 市・県民実技講座

### 「救急救命講習会」

- 応急救手当てをする前に
- 心肺蘇生法
- AEDの使用法
- その他、質問など

日本赤十字社宮城県支部 救急法指導員  
救急法指導員 庄子 和良先生  
菊地 信子先生

市・県民実技講座

主催 公益社団法人宮城県柔道整復師会

宮城県柔道整復師会

日本赤十字社宮城県支部 救急法指導員  
(左)菊地 信子先生 (右)庄子 和良先生

本学会の参加者は428名を数え、大盛況のうちに幕を閉じることができました。

今後も現状に甘んずることなく気を引き締め、会員の明るい未来につながるような学会にしていかなければなりません。そのためには、ひとりひとりが日々の臨床から学んだ叡智を「学問」として構築し、「柔道整復学」という国民の財産として残していく必要があります。その最高の手段が学会参加



## 医療機器業者展示

萩会場では、宮城県柔道整復師会賛助会員各社による展示ブースが設けられ、医療機器展示会が開催されました。会場は多くの来場者でにぎわい、最新の医療機器を体験することができる大変有意義な展示会になりました。

なのではないでしょうか。  
必要なのは学歴ではなく学問だよ。学歴は過去の栄光。学問は現在に生きている。  
〔第64・65代 内閣総理大臣田中角栄〕  
(学術部長 後藤憲一)



日本赤十字社宮城県支部 救急法指導員  
(左)菊地 信子先生 (右)庄子 和良先生

本学会の参加者は428名を数え、大盛況のうちに幕を閉じることができました。

今後も現状に甘んずることなく気を引き締め、会員の明るい未来につながるような学会にしていかなければなりません。そのためには、ひとりひとりが日々の臨床から学んだ叡智を「学問」として構築し、「柔道整復学」という国民の財産として残していく必要があります。その最高の手段が学会参加

# 東北学術大会

平成27年7月19日(日) ホテルナクアシティ弘前

に「ラッセラー、ラッセラー」に変化していく  
と言われています。  
以下に、本大会の内容について紹介いたし  
ます。

公益社団法人青森県柔道整復師会  
佐藤義一 会長公益社団法人日本柔道整復師会  
工藤鉄男 会長

平成27年7月19日(日) ホテルナクアシティ弘前

イ弘前を会場に、公益社団法人日本柔道整復師会第36回東北学術大会青森大会が開催されました。公益社団法人日本柔道整復師会の学術大会は、全国11地区において、各県持ち回りで毎年開催されています。柔道整復師の医療技術の向上と国民が求める安心・安全な医療の提供に大きく貢献することを目的としています。

青森県といえば、「ラッセラー、ラッセラー、ラッセ、ラッセ、ラッセラー！」という掛け声が特徴的な「ねぶた祭り」と「リンゴ」が有名です。「ラッセラー」という掛け声は、かつて各家や辻々でねぶたを運行していた頃に、門戸で口うそくやお菓子、振る舞い酒などをねだる風習があり、その際の「出せ出せ、いつ見える出せ、いつ見え出せ」という掛け声が、徐々に「ラッセラー、ラッセラー」と変化していったのです。

弘前大学大学院 医学研究科長・医学部長  
中路重之 教授

## 特別講演

「私たちができる短命県返上」

弘前大学大学院 医学研究科長・医学部長  
教授 中路重之 氏

現在、男女ともに日本で平均寿命の最も短い都道府県が青森県です。特別講演では、青森県の平均寿命対策としての様々な取り組みについて紹介がありました。重要な対策としては、「健康に対する正しい知識の啓蒙活動をなるべく早い段階から始める必要がある」ということでした。

## 研究発表

高橋亘先生（秋田県）  
「T-FCC損傷（三角線維軟骨複合体損傷）に対する固定とティーピング法の一例」

丹学先生（山形県）  
「体幹前屈筋位を呈した腰痛患者に対する治療法の文献研究」

大内佳奈江先生（福島県）  
「腹部引き込み動作を利用した体幹深層筋の効果的な訓練方法の検討」

田村博先生（宮城県）  
「病態を基にした傷病分類の提案（統報）」

宮城県「柔道整復学」構築研究委員会委員  
間橋淑宏先生（岩手県）  
「みかけの脚長差が起因となった腰痛発生の調査解析について（大腰筋（腰神経叢）が腰痛に及ぼす影響）」

新井田一史先生（青森県）  
「当接骨院に来院する患者の統計Ⅱ～五戸町と仙台市との比較」

ランチョンセミナーでは、これから本格的に構築される地域包括ケアシステムの中での柔道整復師には何ができる、何に貢献できるのかについての報告がありました。

人は障害を抱えても、自宅等の住み慣れた

公益社団法人日本柔道整復師会  
保険部介護対策課 三谷 誠 先生

座長 若井晃 先生

生活の場で養生し、生活を継続することが必要です。そのためには、地域での医療・介護の関係機関が連携し、包括的・継続的な在宅医療・介護サービスを提供することが重要です。その方策として、関係機関が連携して他職種協働による在宅医療・介護を一体的に提供できる体制を構築し、都道府県・保健所の支援の下に、市区町村が中心となり、地域の医師会等と密接に連携しながら、地域の連携体制を図るとされています。

柔道整復師が、地域と連携して通所型サービスの中で介護予防の一翼を担うための指針を示す内容でした。

ランチョンセミナーでは、これから本格的に構築される地域包括ケアシステムの中での柔道整復師には何ができる、何に貢献できるのかについての報告がありました。

人は障害を抱えても、自宅等の住み慣れた

人についての報告がありました。

## 実技発表

松田 幸泰先生  
(秋田県)  
「シングルプリントにおける  
膝関節痛へのアプローチ」

川越 健雄先生  
(福島県)  
「膝関節痛へのアプローチ  
テープニング法の一考察」

岩佐 和之先生  
(宮城県)  
「左右対称の身体機能を阻害する  
構造的特異点の位置と運動」

研究発表: 宮城県 田村 博先生



研究発表と実技発表では、各県会員の代表から、日頃の臨床経験に基づく貴重な発表がありました。宮城県からは、宮城県「柔道整復学」構築研究委員会の田村博委員と岩佐和之委員長が発表し、大変素晴らしい評価を受けました。

その他、「柔道整復学」の構築並びに柔道整復普及活動において、富山大学大学院・医学薬学研究部の協力の下で開設した「神経整復学」寄与講座での柔道整復のエビデンス検証の研究発表もありました。



各県の研究発表者

岩佐 和之先生  
(宮城県)  
「三角線維軟骨複合体損傷  
(T F C C) Triangular  
fibrocartilage com-  
plexに対する機能的な固定」

高橋 忠仁先生  
(岩手県)  
「下顎骨本体の弾性力を応用した  
頸関節前方脱臼の整復法」

佐々木 智彦先生  
(青森県)  
「足根中足関節(リスフラン関節)捻挫に対するWテープニング法と有効性」



実技発表: 宮城県 岩佐 和之先生



公益社団法人 宮城県柔道整復師会  
(左から)目時 誠 副会長、岩佐 和之 会員、田村 博 会員  
櫻田 裕 会員、松元 浩二 副会長

「草原に架かる虹を追つて、公益社団法人日本柔道整復師会 モンゴルでの記録」  
公益社団法人日本柔道整復師会 国際部

国際部活動報告では、「日本伝統医療である柔道整復術を、外務省並びに独立行政法人国際協力機構（JICA）と連携してモンゴルに発信している」という報告がありまし

た。  
最後の懇親会では、次回の開催県である秋田県の民俗行事「なまはげ」がサブライズ登場して会場を沸かせました。東北学術大会への参加は、勉強も大事ですが、東北の他県への旅をゆっくり楽しむことでモチベーションアップにもつながります。  
それでは、皆さん、来年は、川反で会いましょう!  
「なんだ、秋田さんでも、遊びにきてけれ、んめものかしおるがらー」

平成27年度

# 「みやぎ柔整スクール」開校

平成27年度「みやぎ柔整スクール」が、5月9日(土)に開校いたしました。開校にあたり、亀井啓校長から「学術・教養・経営の三本柱を中心にして、会員のことにより実務能力と専門性はもちろん、その上で人間性をレベルアップさせ、最終的には会員の収入アップに繋げるために、当スクールを大いに活用して欲しい」との挨拶がありました。



公益社団法人 宮城県柔道整復師会  
櫻田 裕 会長

それでは——"UP THERE WITH THE BEST OF BEST,"

(学術部長 後藤憲一)

- I. 必修基礎講座
- 「医療人が知るべき大切なことⅠ」「柔道整復の歴史と技術の伝承」

柴田仁市郎先生(みやぎ柔整スクール顧問)



みやぎ柔整スクール 校長  
亀井 啓 先生

みやぎ柔整スクール 顧問  
柴田仁市郎 先生

## 平成26年度 「みやぎ柔整スクール」開催状況 (平成27年1月～2月開催の講座)



宮城県柔道整復師会  
千葉 昌彦 先生



仙台大学体育学部教授  
鈴木 省三 先生

### 新春特別講座 「スポーツを通じて活力と幹のある 宮城を創るための現状と改善策」

## 平成27年度 「みやぎ柔整スクール」開催状況

平成27年1月17日(土)

杉浦 永子先生(第一印象研究所所長)

II. 一般教養講座

「アンガーマネジメント研修」

「怒りの感情をコントロールして  
より良い人生を」

## 平成27年度 「みやぎ柔整スクール」 今後の予定

平成27年10月17日(土)

V. 必修基礎講座

「医療人が知るべき大切なことⅡ」

「言葉の大切さ柔整法規(コンプライアンス等)」

櫻田 裕先生(宮城県柔道整復師会会長)

平成27年11月21日(土)

V. 保険関連講座

「柔道整復施設運営について」

「施術録・負傷原因・保険関連トピックス等」

芦澤 卓也先生(宮城県柔道整復師会保険部長)

平成27年12月5日(土)

VI. 必修基礎講座

「医療人が知るべき大切なことⅢ」

「医療連携のあり方・インフォームドコンセント等」

亀井 啓先生(みやぎ柔整スクール校長)

平成28年1月23日(土)

VII. 特別講習会

「スポーツ現場で求められる技術」

三森哲司先生(プロ野球トレーナー)

平成28年2月27日(土)

VIII. 学術関連講座

「研究発表者養成講座」

「みやぎ柔整スクール」で取り上げてほしいテーマはありませんか? 「要望」の提案はお気軽に事務局までお寄せください。



宮城県柔道整復師会  
千葉 昌彦 先生

- 【介護関連講座】  
千葉 昌彦先生  
(宮城県柔道整復師会理事)
- 【介護保険制度の今後を見据えて】  
大江恵子先生(社会保険労務士法人めぐ  
み事務所)
- 【介護保険事業(デイサービス)設立の  
具体的進め方】  
大江恵子先生(社会保険労務士法人めぐ  
み事務所)

- 平成27年2月14日(土)  
【介護関連講座】  
千葉 昌彦先生
- 【介護保険制度の今後を見据えて】  
大江恵子先生(社会保険労務士法人めぐ  
み事務所)
- 【介護保険事業(デイサービス)設立の  
具体的進め方】  
大江恵子先生(社会保険労務士法人めぐ  
み事務所)

- 平成27年9月26日(土)  
【介護関連講座】  
千葉 昌彦先生
- 【介護保険制度の今後を見据えて】  
大江恵子先生(社会保険労務士法人めぐ  
み事務所)
- 【介護保険事業(デイサービス)設立の  
具体的進め方】  
大江恵子先生(社会保険労務士法人めぐ  
み事務所)

- 平成27年10月17日(土)  
【介護関連講座】  
千葉 昌彦先生
- 【介護保険制度の今後を見据えて】  
大江恵子先生(社会保険労務士法人めぐ  
み事務所)
- 【介護保険事業(デイサービス)設立の  
具体的進め方】  
大江恵子先生(社会保険労務士法人めぐ  
み事務所)

- 平成27年11月21日(土)  
【介護関連講座】  
千葉 昌彦先生
- 【介護保険制度の今後を見据えて】  
大江恵子先生(社会保険労務士法人めぐ  
み事務所)
- 【介護保険事業(デイサービス)設立の  
具体的進め方】  
大江恵子先生(社会保険労務士法人めぐ  
み事務所)



# 救命急救講習会

平成27年6月21日(日)仙台国際センター



日本赤十字社宮城県支部救命法指導員  
庄子和良先生

平成27年6月21日(日)、仙台国際センターにおいて「救命急救講習会」を開催いたしました。今回も宮城県柔道連盟との共催で行われ、当会会員・準会員18名、学生22名、一般2名の合計42名が参加しました。当初の予定を上回る参加人数となり、会場が手狭に感じられるほどの盛況ぶりでした。

講師には、日本赤十字社宮城県支部救命法指導員である庄子和良先生と菊地信子先

生のお二人をお招きし、講義や実技をご指導いただきました。講習会では、庄子先生の明るく軽妙なトークで時に笑いもあり、和やかな雰囲気の中にも受講者の皆さんのがんばんなまなざしと活発に質問している姿が印象的でした。

「救命急救講習会」は毎年行われていますが、考え方や方法等が改変されており、あらためて勉強になる講習会でした。以前受講された方も、復習を兼ねて何度も受講される

ようお薦めいたします。  
柔道整復師として最新の救命急救法を身につけ、万一、施術所内外で事故等が発生した際には慌てることなく冷静に対処できるよう、「救命急救講習会」を今後も開催していきたいと思います。





平成27年4月26日(日)  
女川町総合体育馆

栄冠を目指して

【文部科学大臣杯争奪第24回  
日整全国少年柔道大会予選宮城県大会】

平成27年度

# 宮城県少年柔道大会

平成27年4月26日 (日) 女川町総合体育馆において、  
平成27年度宮城県少年柔道大会が開催されました。  
大会には県内各地から、小学生37チーム175名、  
中学生70チーム202名の選手が参加。  
熱戦の模様をお伝えします。



# 試合結果

## 小学生の部

優勝	北岡道場A	優勝	柳柔会牛木道場A
準優勝	大崎柔道クラブA	準優勝	米山町鍊友会A
第3位	泉柔道スポーツ少年団	第3位	木村柔道館A
第3位	石巻みなど柔道会	第3位	山元町柔道スポーツ少年団A

## 中学生の部

優勝	柳柔会牛木道場A	優勝	柳柔会牛木道場A
準優勝	柳柔会牛木道場A	準優勝	柳柔会牛木道場A
第3位	柳柔会牛木道場A	第3位	柳柔会牛木道場A
第3位	柳柔会牛木道場A	第3位	柳柔会牛木道場A

## 第4回東北少年柔道形競技会 宮城県代表選手

(取)尾曾輝斗	(受)大津陽人	志栄會凌門塾
(取)佐々木未来	(受)佐々木結音	志栄會凌門塾



(取)尾曾輝斗 (受)大津陽人 (志栄會凌門塾)



(取)佐々木未来 (受)佐々木結音 (志栄會凌門塾)

## 第24回日整全国少年柔道大会 宮城県代表選手

大将	高橋 幸汰(6年)	泉柔道スポーツ少年団
副将	今野 太陽(6年)	石巻みなど柔道会
中堅	小野崎 武(5年)	北岡道場
次鋒	佐々木 敦裕(5年)	大崎柔道クラブ
先鋒	大村 丈(4年)	北岡道場

(※代表メンバーであった中堅の渡邊 琉聖選手は負傷のため出場辞退し、選手交代となりました)



第24回日整全国少年柔道大会  
宮城県選抜チーム



櫻田 裕 会長 挨拶



祝辞 女川町長 須田 善明 様



県内の柔道少年たちにとって、年に一度の大勝負——。

当日は天候に恵まれ、震災復興の歩みを象徴する女川駅の新駅舎を眺めながら、早朝から監督・選手や保護者など大勢の参加者が集結し、会場には熱気が満ちています。各チームの選手・監督・保護者がひとつになり、熱い応援で会場は大盛り上がりました。選手たちは、日頃の練習の成果を発揮し、熱戦を繰り広げました。



小学生の部で優勝した北岡道場Aチームと準優勝した大崎柔道クラブAチームの上位2チームは、平成27年7月20日に青森県武道館(弘前市)で開催される「第23回東北少年柔道大会」に出場しました。

また、同日には第4回東北少年柔道形競技会も行われます。宮城県代表として形競技会に出席した2組の選手は別表の通りです。

さざれ、小学生の部の上位4チームの中から、平成27年10月12日に講道館で開催される「第24回日本全国少年柔道大会」に出場する宮城県代表選手が選抜されました。



## 迅速・適切な救護処置



当会会員による救護活動も少年柔道家の活躍を陰でサポートしています

今大会でも、試合中に負傷した選手に対して、救護班が適切に応急処置を行いました。柔道整復師による迅速な対応は、大会に参加する選手・監督・保護者の安心につながっています。

最後に、前日の会場準備や当日の大会進行・運営・撤収に至るまで多大なご協力いたしました女川町・石巻地区の柔道協会はじめ多くの大会関係者の皆様に感謝を申し上げます。皆様のおかげで、今大会も滞りなく終了できましたことをここに報告いたします。

(柔道大会推進委員会委員長 佐藤昭彦)



# 真夏の熱戦



## 結果報告

[第39回厚生労働大臣旗争奪日整全国柔道大会予選会]

第36回

東北ブロック会柔道大会

[日本柔道整復師会東北ブロック会]

第23回

東北少年柔道大会

[第5回日整全国少年柔道形競技会東北ブロック会予選会]

第4回

東北ブロック会柔道大会

平成27年7月20日(月・祝)、青森県弘前市の青森県武道館において

第36回東北ブロック会柔道大会・第23回東北少年柔道大会。

第4回東北少年柔道形競技会が開催されました。

出場した宮城県代表選手に大きながもなく、

近代的な素晴らしい会場を舞台に充分に力を発揮してくれました。

各県を代表する名手、少年柔道家たちが日々の鍛錬の成果を競い合った白熱の競技の模様と試合結果を以下に報告いたします。

## 試合結果

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	団体総合
優 勝	松田 幸泰	秋田	佐藤 昭彦	宮城	工藤 渉
準優勝	逢坂 昭人	青森	神谷 長彦	秋田	青森
第3位	松浦 翔弘	福島	五十嵐 宏	山形	飯野 勝幸
第3位	加藤 孝廣	山形	長岡 泰彦	秋田	安藤 直樹
				宮城	渡部 康光
				岩手	宮城県
				岩手	秋田県
				山形	一

## 東北代表選手

大将  
太田 邦雄(岩手県)  
副将  
工藤 渉(青森県)  
中堅  
神谷 長彦(秋田県)  
次鋒  
佐藤 昭彦(宮城県)  
先鋒  
松田 幸泰(秋田県)



佐藤昭彦選手  
オール1本勝ちで優勝!

平成27年10月12日  
に講道館で、第39回  
厚生労働大臣旗争  
奪日整全国柔道大  
会が開催されます。  
東北代表選手の健  
闘をお祈りいたします。  
会員の皆様の応  
援をどうぞよろしく  
お願いいたします。



飯野 勝幸 会員

佐藤 昭彦 会員

「第39回厚生労働大臣旗争奪日整全国柔道大会受付会場」

## 東北ブロック会 柔道大会

第36回東北ブロック会柔道大会には、各県会員の代表として総勢26名の選手が出席し、白熱した試合が展開されました。当会からは、木村清徳監督のもと、4名の選手が出席。50歳代で渡部康光会員、40歳代で飯野勝幸会員、30歳代で渡邊利康会員と佐藤昭彦会員の4名が、当会の代表として熱い戦いを繰り広げました。

結果は、佐藤昭彦会員がオール1本勝ちで堂々の優勝を果たし、10月12日に講道館で行われる第39回厚生労働大臣旗争奪日整全国柔道大会に、東北代表として出場が決定しました。渡部康光会員と飯野勝幸会員は、終始試合をリードし善戦しましたが惜しくも3位入賞、渡邊利康会員も2回戦で惜敗となりました。ポイントによる団体総合順位では、宮城県は3位に入賞し、出場4選手の健闘が光る結果となりました。



(後列左から)木村 清徳 監督、櫻田 裕 会長、松元 浩二 副会長、目時 誠 副会長  
(前列左から)渡邊 利康 会員、佐藤 昭彦 会員、渡部 康光 会員、飯野 勝幸 会員



渡邊 利康 会員



渡部 康光 会員

## 第23回

## 東北少年柔道大会

第23回東北少年柔道大会には、予選を勝ち上がった各県代表の16チーム80名の選手が集い、予選リーグ戦・決勝トーナメント戦と熱戦が繰り広げられました。

宮城県からは北岡道場と大崎柔道クラブの2チーム10名が出場しました。各チームの熱い応援により会場が一層盛り上がりましたが、両チームとも予選リーグ1勝2敗となり残念ながら決勝トーナメント進出を逃しました。

## 第23回 東北少年柔道大会 試合結果

優勝	ヨウセイ シラフカレヤマツカ 雄武館山中道場	秋田県
準優勝	スムダキ 鶴田町柔道少年団	青森県
第3位	オトモヨシシ 小友唯心塾	秋田県
第3位	ヨシキガワタ 五所川原柔道少年団	青森県

## 第4回 東北少年柔道形競技会

[第5回日整全国少年柔道形競技会  
東北ブロック会予選会]

11:15

第36回東北ブロック会柔道大会  
第23回東北少年柔道大会/第4回東北少年柔道形競技会

宮城代表

尾曾 輝斗・大津 陽人 (組)志栄會凌門塾  
佐々木未来・佐々木結音 (組)志栄會凌門塾

尾曾 輝斗・大津 陽人

佐々木 未来・佐々木 結音

## 第4回東北少年柔道形競技会 競技結果

優勝	ヒロホタツキ 東北町柔道少年団 (青森県)	(取)久保 流綺 (受)久保 静夜
準優勝	アシヒトコロ 朝日町柔道スポーツ少年団 (山形県)	(取)阿部 優悟 (受)若月 真都偉
第3位	タカハシ 高橋道場 (山形県)	(取)熊澤 東輝 (受)原田 流似

入賞した3組は、平成27年10月12日に講道館で行われる第5回日整全国少年柔道形競技会に東北代表として出場しました。



宮城代表 北岡道場



11:29

第36回東北ブロック会柔道大会  
第23回東北少年柔道大会/第4回東北少年柔道形競技会

宮城代表 大崎柔道クラブ